

浦幌町立博物館だより

2025(令和7)年6月号

編集・発行：浦幌町立博物館 ☎089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 / ☎015-576-2009 / ✉info@museum-urahoro.jp



うらほろ
マラソン
2025.6.22(日)

マラソンの歴史

1978(昭和53)年から開催されてきた、かつての太平洋スピードマラソンのようす。1996(平成8)年度の大会を町の広報が撮影した記録写真から。



まもなく「うらほろマラソン2025」です。今年は6月22日(日)です。すでに5月24日(土)、こどもたちのキッズチャレンジがはじまっています。願わくは天気で、初夏の青空のもと、今年も多くの人々が楽しみながらマラソンに参加できると良いなと思っています。

そもそも「マラソン」とは？

「マラソン」とは、紀元前450年にギリシャで起きた「マラ톤のたたかい」に由来する言葉といわれています。ギリシャのアッティカ半島に位置する「マラトン」から、約40km離れたアテナイ(現在のアテネ)まで走りきり、戦争に勝利した知らせを伝えて命を落とした兵士(伝令)の伝説があります。もっとも、史実とは内容に微妙な違いがあるともいわれます。

女性のマラソン参加は今年で50年

マラソンは長い間、男性のスポーツとされてきました。日本のマラソンが公式に女性の参加を認めたのは1972年。実際に公式コースを女性が走破したのは、1975年7月、網走市の日本陸上競技連盟公認コースを走り抜いた、札幌短期大学(現在の札幌学院大学)の6人の学生・OGたちでした。

つまり、今年は日本で女性がフルマラソンに参加して50周年の節目にあたります。

うらほろマラソンも歴史となる

博物館では、うらほろマラソン2025支援企画として、「浦幌とマラソン」というミニ企画展を開催します。そして、うらほろマラソン自体を歴史として、資料の収集をはじめます。

(浦幌町立博物館 学芸員 持田誠)

博物館の収蔵資料から

こんな資料を集めています！

太平洋スピードマラソン



1996(平成8)年に浦幌で開催された「第19回太平洋スピードマラソン」のスポーツバック。近年新たにスタートした「うらほろマラソン」についても、随時資料を収集して記録に残していきたいと考えています。

(浦幌町立博物館 学芸員 持田誠)

Pick up BOOK [注目の本]

図書館から

シカしかいない

シカしかいない、
きく・きく・きく



キューライス 著
2024年8月 白泉社発行

タイトルの通り、全ページどこを見てもシカだらけ!!な絵本のため、プランコを楽しむ親子シカに、日向ぼっこやサウナを楽しむシカ、お風呂でくつろぐロボットシカまで、思い思いに日常を過ごしている様々なシカたちを楽しめます。

しかし、本当にシカしかいないのでしょうか?大人も子どもも楽しめる絵本となっていますので、ぜひ一緒に探してみてください。各ページに隠れている小さいシカにも注目です。

(浦幌町立図書館 司書 金澤 明香里)

【配架場所】
B/キ
(絵本コーナー)



6月の博物館お知らせ

企画展

浦幌と戦争

5月31日(土)

7月15日(火)

10:00~18:00

場所:博物館特別展示ホール

終戦80年を記念し、当館が所蔵する戦争関係資料を展示します。

共催:浦幌町立図書館



トピック展

うらほろマラソン2025応援企画

浦幌とマラソン

5月31日(土)

7月15日(火)

10:00~18:00

場所:博物館常設展示室

うらほろマラソン2025の開催を記念して、浦幌におけるマラソンの歴史を写真と資料でご紹介します。



移動博物館

浦幌フラーソン

森林公園の植物をしらべる

日時: 6月21日(土) 9:30~12:00

集合: 浦幌町立博物館

場所: 森林公園内遊歩道から平和塔まで

上浦幌の植物をしらべる

日時: 6月21日(土) 14:00~17:00

集合: 上浦幌公民館

場所: 公民館から中学校前を通って貴老路八幡神社まで行き、川流布川沿いに戻るコースで計画。

定員: いずれも定員・事前申し込みはありません。
野外を歩ける服装でご参加下さい(帽子・長靴など)

5年に1度の全道一斉フラーソンと同じ日程・同じ方法で浦幌町内2ヶ所で植物の開花調査をして歩きます。

昆布刈石海岸をあるく

日時: 6月29日(日) 9:00~12:00

集合: 8:50 博物館集合

雨天中止

定員はありませんが、ご参加の方はお申し込みください。

内容: 東十勝ロングトレイルで毎年観光の方と歩いている昆布刈石海岸を、今年は地域の人たちで歩きたいと考えています。

砂浜を約5km歩きますので、体力に自信の無い方はお控え下さい。



浜から黄金の滝をみる

【行程】いったん十勝太まで自動車で行き、自動車を置いたのち、博物館の車輛で昆布刈石トンネルまで移動して、海岸を約5km歩いて十勝太へ戻ります。

※途中、川を裸足で渡ります。野外を歩ける服装およびタオルや履き替え用の靴下などをご持参下さい。

※雨天時は中止です。

入館料: 無料

開館時間: 10:00 ~ 18:00

バリアフリートイレ完備
車いす常備

多言語化表記には未対応

学芸員: 1名配置

展示解説の申込み、レファレンス、資料調査等は事前に電話かメールにてお申し込みください。

6月 休館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

休館日: 月曜日・月末資料整理日

6月23日(月)~27日(金)は、蔵書点検のために休館とさせていただきます。



JR根室本線浦幌駅下車徒歩8分
帯広駅より普通列車...約1時間
池田駅より普通列車...約30分
釧路駅より普通列車...約2時間
鉄道のご利用が便利です!

【運賃】

帯広~浦幌間 1380円(片道)

釧路~浦幌間 1800円(片道)

4月1日から運賃が改定されました



駐車場無料

帯広市より国道38号線約1時間

釧路市より国道38号線約1時間半

道東自動車道浦幌ICより約50分



浦幌町立博物館
The Historical Museum of Urahoro

お申し込み・お問い合わせ: 電話 015-576-2009

〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 (図書館併設・役場となり)

E-mail: info@museum-urahoro.jp / <https://museum-urahoro.jp>